
出別

早川 眞治

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

出別

【Nコード】

N7916A

【作者名】

早川 眞治

【あらすじ】

それは、突然の事だった…君に…そして…俺は…

「えっ…??」

それは、突然の出来事だった。

「私…あなたが好きなんです…付き合ってください…」

目の前の女の子は、顔を紅くして少し伏せながら俺の言葉を待っている…。

「あっ…ああ…俺も好きだ!!」

懐かしい思い出…コレが彼女と俺の初めての会話だった。今、彼女は、この世に居ない…数日前に逝ってしまった…。交通事故…居眠り運転の車に跳ねられたらしい…結局、俺は…大事な人すら守れなかった…。

「ねえ…デートどこ行く??」 「そうだな…どこがイイ??」 「私は…遊園地がイイ」 溢れんばかりの笑顔で云う。 「遊園地か…よし、遊園地に行くか」 俺も笑顔になる。 「ありがとう 遊園地だ…ワイ」 子供の様にはしゃぐ姿を見てまた笑顔になる。
でも…彼女は、死んでしまった…

「なんで…なんで死んじゃったんだ…なんで!!」

涙で濡れた拳で壁を殴りつけた。

「ごめんね??」

後ろから声が聞こえる。

「えっ…??」

俺は、振り向いた…。

「ごめんね…」

彼女が…顔を伏せながら謝っている。

「生き返った…??死んじゃってなかった…??」

悲しみの涙が喜びの涙に変わり俺の中から溢れだした。

「ごめんね??」

彼女は、ごめんとしか云わない。

「そんな…いいよ」

云いながらゆつくりと寄る。

「ダメっ!!」

彼女が目をつむりながら叫ぶ。

「なん…で…」

そう云い肩を掴もうとした…。スッ

「ごめん…」

また謝る彼女。

「そんな…」

俺は、その場に崩れ落ちた。

「そろそろ…いくね」

彼女は、泣きながら笑い消えていく。

「まっ!!」

何もない空を抱く。

「…また…また逢おうね!!絶対…絶対!!」

俺は、空を見上げて叫んだ。

「…って云う夢をみたんだ」

「なにそれ…ヒドい」

あの時と同じ笑顔で俺の隣を歩いている。

「さあ…何に乗る??」

「えっとね…アレがいい!!」

そう云って手をひく。離れないように離さないように…

（後書き）

もう少し長く書きたかったんですが…カップルがどうしてもデートがしたい…って云った気がしてこんなに短くなりました（*´`´）笑

お付き合いありがとうございました…これからも宜しくお願い致します（・・・）早川 眞治でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7916a/>

出別

2010年12月27日11時12分発行